

# 平成25年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立淡路中学校

生徒数

男子45人・女子32人

※ 在籍93人

## 平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
	45・40	45・34	45・39	45・34	—	45・37	45・37	45・37	45・37	45・32
男子	25.91	26.96	40.36	50.16	—	78.87	8.01	181.47	18.82	37.60
大阪市	29.52	27.12	40.76	49.98	410.24	83.27	8.13	189.16	20.66	40.28
全国	29.21	27.58	43.11	51.08	393.90	84.98	8.04	193.68	21.01	41.78
女子	21.93	15.15	40.36	44.74	—	48.54	8.85	155.95	13.68	43.47
大阪市	24.16	22.45	43.56	44.40	292.71	55.54	9.05	163.23	13.07	47.03
全国	23.76	23.03	45.12	45.27	307.17	57.20	8.88	166.18	12.97	48.42

## 結果の概要

- ・在籍93名のうち、全種目の記録が取れた生徒数は、77人であった。
- ・授業時間数の関係等で、補講をして調査を行ったが、16人がすべての種目の調査をできなかった。
- ・男子では、「50m走」で全国平均を、「反復横跳び」で、大阪市平均を超えた。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

### 【これまで取り組んできたこと】

- ・体育の授業を中心に、体育的行事(体育大会・球技大会・スポーツ大会・部活動等)を通して、生徒の体力向上に取り組んできた。
- ・生徒の体育委員を中心に、また、リーダーとして、授業のみならず体育的行事に取り組み、生徒が主体的に体育活動に参加できるように努めた。
- ・授業では、TT(チームティーチング)を取り入れ、習熟度に応じるなどきめ細かな指導を行ってきた。
- ・生徒アンケートによると、体育的行事の満足度は高く、スポーツや体育が好きでない生徒にとっても肯定的な回答をしている。

### 【今後の課題・展望】

- ・粘り強く取り組むことが必要な種目の結果が低いことが課題である。
- ・運動能力というよりは、精神的な面で最後まであきらめずにやり遂げることに課題があると考える。
- ・この点に関しては、保健体育の授業のみならず、教育活動全体を通して取り組む必要がある。
- ・しかしながら、3学期に行っている持久走の授業では、ピアサポートの理念を取り入れた、ペアによる学習を取り入れることで、苦手な分野の種目に3学年ともすべての生徒が最後まであきらめずに走る生徒が見られる状態である。
- ・今後、持久走で身につけた「最後まで粘り強く」取り組む姿勢が、スポーツテストのみならず、学習面でも成果として現れることが期待される。

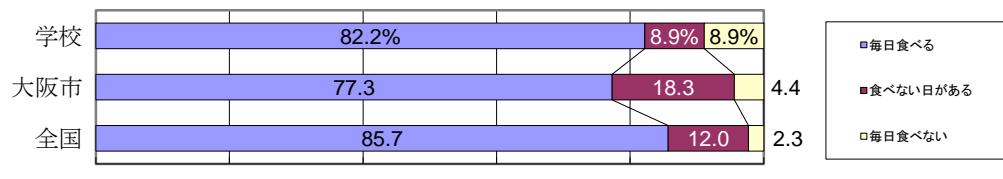
## 中学校男子 基本的生活習慣・運動のきっかけ

### 結果の概要

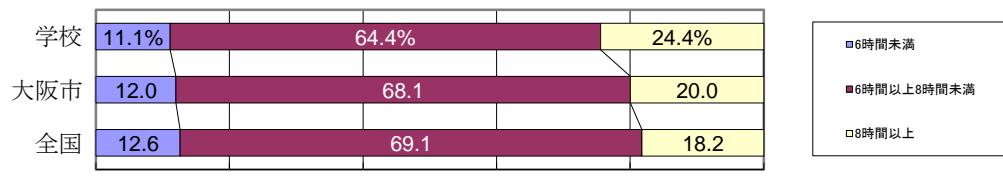
- ・睡眠時間は、全国や大阪市と比較しても、しっかりと確保できているという結果である。
- ・朝食の喫食については、8割以上の生徒が毎日食べており、大阪市平均を上回っている。今後は、残り2割弱の生徒の起床から朝食についての改善について個別指導も含めて丁寧に対応し、改善を図りたい。
- ・今後もっとスポーツに親しむためにはについて、「2. 自分のペースで」、「3. 授業に丁寧に教えてもらう」、「5. 友達と一緒に」、「7. いつでも自由に使える場所」、「8. 学校の中で自由な時間」、「10. 友達に誘われたら」、「12. 活躍している指導者」などの項目で大阪市や全国の平均を超えており。

質問番号	質問事項
------	------

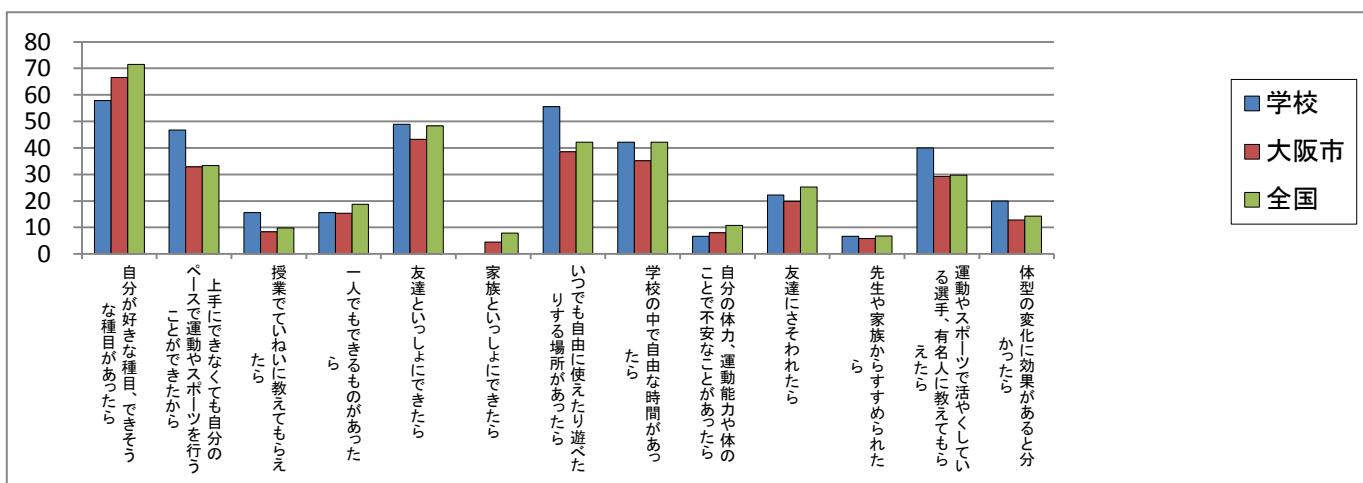
9
朝食は食べますか



10
1日の睡眠時間



12
今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。



### 成果と課題

- ・保護者・地域と連動し、「早起き 早寝 朝ごはん 遅刻ゼロ」に取り組んでいることが、睡眠時間や朝食についての結果につながっていると考える。
- ・一方、今後もっとスポーツに親しむための工夫を自分以外に求めている生徒の割合が多い。

### 今後の取組

- ・引き続き、「早起き 早寝 朝ごはん 頭スッキリ 遅刻0」に取り組み、2割弱の課題のある生徒の改善に取り組みたい。
- ・より一層、スポーツや運動をしたいと考えている生徒がいると考え、その要求を満たせる工夫を検討していく。

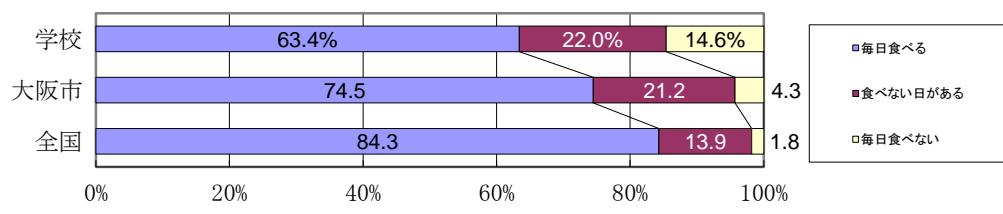
## 中学校女子 基本的生活習慣・運動のきっかけ

### 結果の概要

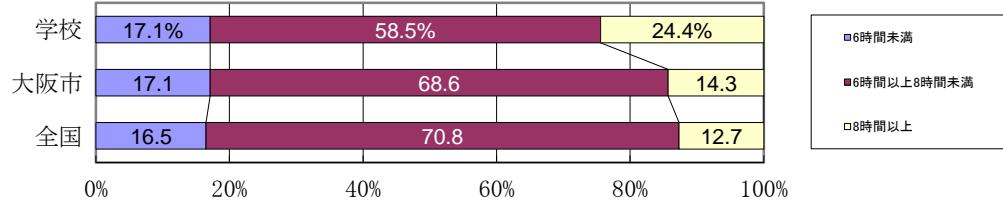
- ・睡眠時間は、全国や大阪市と比較しても、しっかりと確保できているという結果である。
- ・朝食の喫食については、6割程度の生徒しか毎日食べておらず、大阪市平均を下回っている。男子との差も顕著である。
- ・今後もっとスポーツに親しむためにはについて、「2. 自分のペースで」、「5. 友達と一緒に」、「7. いつでも自由に使える場所」、「8. 学校の中で自由な時間」、「10. 友達に誘われたら」、「13. 体型の変化に効果があるなら」などの項目で大阪市や全国の平均を超えており、大阪市女子は運動やスポーツに対する意識が高いと言える。

質問番号	質問事項
------	------

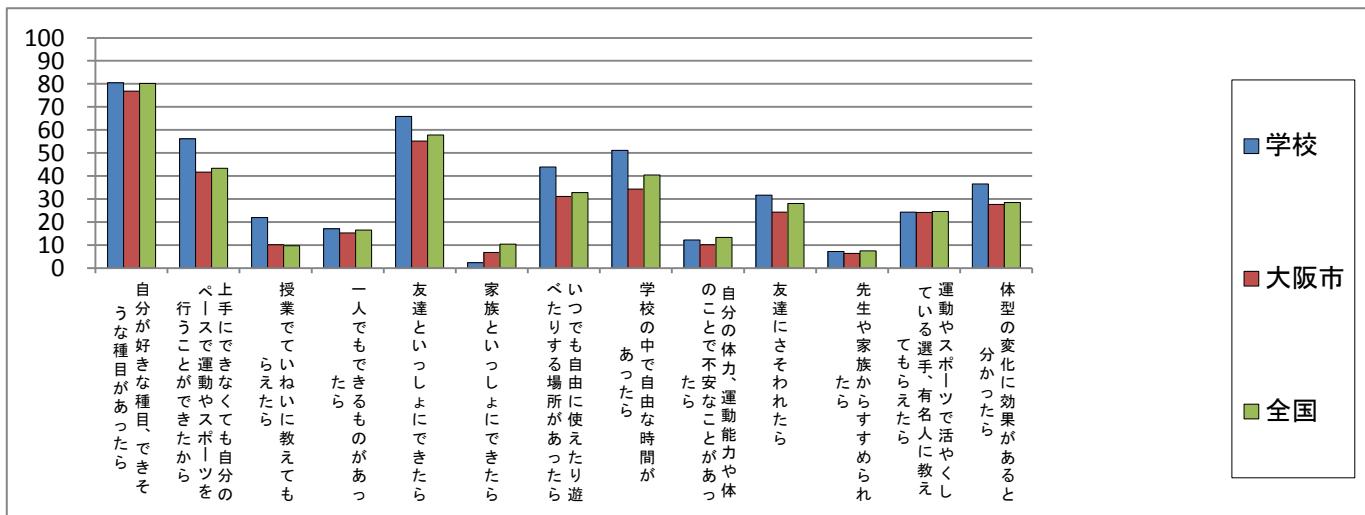
9
朝食は食べますか



10
1日の睡眠時間



12
今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。



### 成果と課題

- ・保護者・地域と連動し、「早起き 早寝 朝ごはん 遅刻ゼロ」に取り組んでいることが、睡眠時間の確保には成果となったと考える。しかし、朝食の喫食についての結果には課題が残った。
- ・一方、今後もっとスポーツに親しむための工夫を自分以外に求めている生徒の割合が多い。

### 今後の取組

- ・引き続き、「早起き 早寝 朝ごはん 頭スッキリ 遅刻0」に取り組み、4割弱の課題のある生徒の改善に取り組みたい。
- ・より一層、スポーツや運動をしたいと考えている生徒がいると考え、その要求を満たせる工夫を検討していくたい。

## 中学校男子 運動・スポーツに対する意識

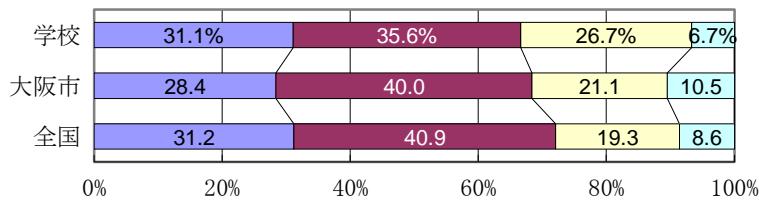
### 結果の概要

- 「得意であるかどうか」という質問に対して、肯定的な回答をした生徒が全国・大阪市平均を下回った。小学校5・6年生のときとその差が少しだきくなっている。
- 「好きであるかどうか」という質問に対して、肯定的な回答をした生徒が、全国・大阪市平均を下回った。

質問番号	質問事項
------	------

13

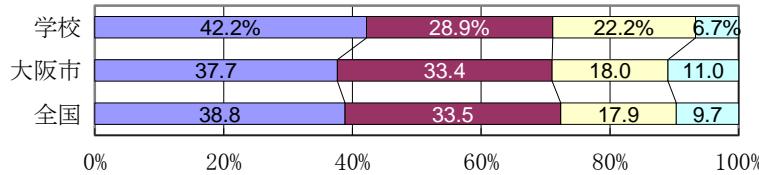
運動やスポーツをすること  
は得意ですか



□得意  
■やや得意  
□やや苦手  
□苦手

26

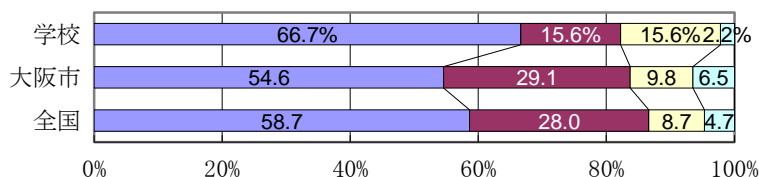
小学校5、6年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが得意でしたか



□得意だった  
■やや得意だった  
□やや苦手だった  
□苦手だった

14

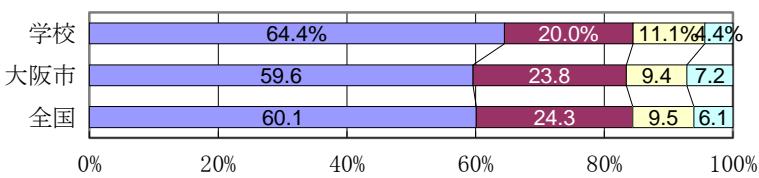
運動やスポーツをすること  
は好きですか



□好き  
■やや好き  
□やや苦手  
□苦手

27

小学校5、6年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが好きでしたか



□好きだった  
■やや好きだった  
□やや苦手だった  
□苦手だった

0% 20% 40% 60% 80% 100%

### 成果と課題

- 生徒が「得意」や「好き」と回答するときの基準が難しい。単純に楽しいだけのスポーツや体育的活動ではなく、やり遂げた達成感やチームワークや「一体感」を味わうことができるという面も体育的行事やスポーツにはある。また、本校の行事では、アンケート結果で肯定的な結果が出ている。

### 今後の取組

- 本校独自の体育的行事のアンケートでは、生徒の満足度は高いという結果を自信とし、より工夫を施した教育活動を展開したい。

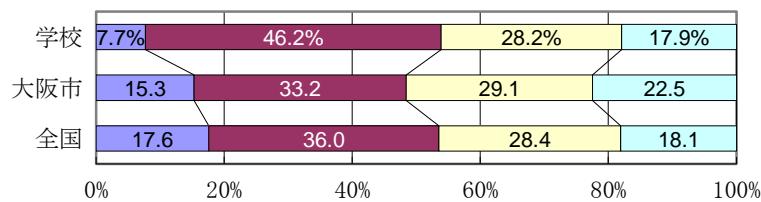
## 中学校女子 運動・スポーツに対する意識

### 結果の概要

- 「得意であるかどうか」という質問に対して、肯定的な回答をした生徒が全国・大阪市平均を上回った。小学校5・6年生のときの印象から改善していることが伺える。
- 「好きであるかどうか」という質問に対して、肯定的な回答をした生徒が、全国・大阪市平均を上回った。小学校5・6年生のときの肯定的な受け止めを持続している。

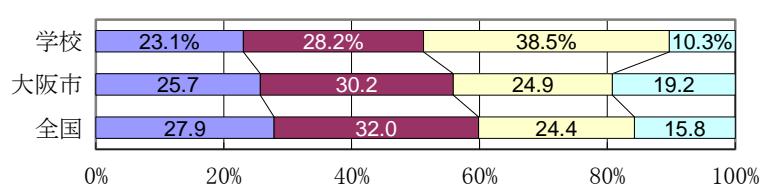
質問番号	質問事項
------	------

13
運動やスポーツをすることは得意ですか



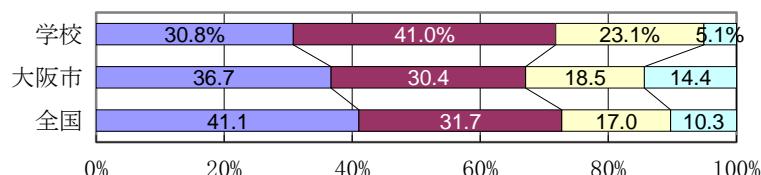
得意  
やや得意  
やや苦手  
苦手

26
小学校5、6年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが得意でしたか



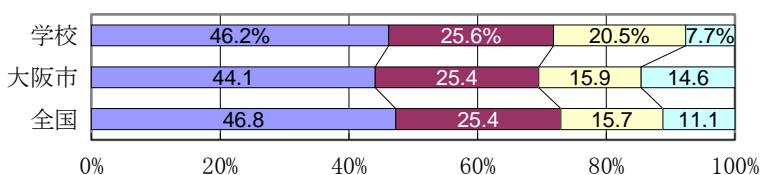
得意だった  
やや得意だった  
やや苦手だった  
苦手だった

14
運動やスポーツをすることは好きですか

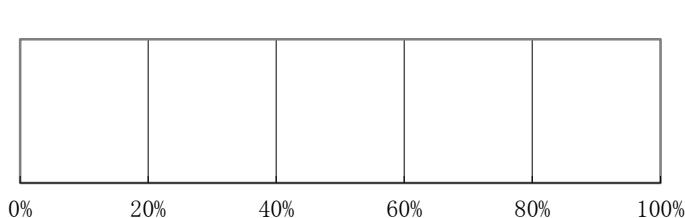


好き  
やや好き  
やや苦手  
苦手

27
小学校5、6年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが好きでしたか



好きだった  
やや好きだった  
やや苦手だった  
苦手だった



● ● ● ●

### 成果と課題

- 生徒が「得意」や「好き」と回答するときの基準が難しい。単純に楽しいだけのスポーツや体育的活動ではなく、やり遂げた達成感やチームワークや「一体感」を味わうことができるという面も体育的行事やスポーツにはある。また、本校の行事では、アンケート結果で肯定的な結果が出ている。

### 今後の取組

- 本校独自の体育的行事のアンケートでは、生徒の満足度は高いという結果を自信とし、より工夫を施した教育活動を展開したい。